



ファイナンシャル  
プランナー  
が解説!

# ほけんの見直しコラム

ジェイコムほけんのスペシャルコラム 今回はおうちの家財保険について解説します!

急増する風水害!  
見落としがちな家財への備えは大丈夫?



火災保険で家財の損害をカバーできない?

近年、台風や豪雨等の多発により風水害(洪水・土砂崩れ・強風による被害)が急増しています。風水害となると、床上浸水や強風で瓦が飛んでしまうなどの建物の被害に加え、家電の水濡れや家具の流失など、家財の被害が発生するケースも増えています。このような自然災害の備えとして多くの家庭で火災保険に加入しているかと思いますが、そこで注意いただきたいのが、「家財の補償が付いているか?」ということ。す。というのも、全ての火災保険に家財の補償が自動的に付いているわけではありません。建物だけでなく、家財まで補償したい場合は、「家財保険」に加入する必要があります。

家財保険に入っていないとどうなるの?

家財保険に加入をしていない状態で、水害で家財全てが流出してしまったらどうなるでしょうか。元の生活に戻すには、家財のすべてを購入し直す必要があります。ちなみに、家財とは「引越しのときにトラックに積み込む荷物のほぼ全て」と捉えてもらえると分かりやすいでしょう。具体的には、ソファ・テーブル・照明・冷暖房器具・じゅうたん・カーテン・タンス・本棚などの家具、コート・スーツ・制服・普段着・礼服などの衣類、食器類・調理器具・冷蔵庫・オーブン・キッチン棚などの台所用用品・靴・バッグ・化粧品・アクセサリ・腕時計などの身の回り品、書籍・ゲーム機・楽器・ステレオなど、全て購入しなおすといくらになるでしょうか。独身世帯でも300万円程度、家族世帯ですと世帯構成にもよりますが、最低でも500万円程度の費用はかかると考えて良いでしょう。これらの家財一式、全損はもちろん、一部損壊などの場合でも、自己負担で購入し直すとなると、生活再建への大きな負担になります。万が一被災した際に、スムーズに生活再建できるために、補償内容を見直すことが大事です。

まとめ まずは加入中の保険を確認しましょう。

ありがちな例として、「火災保険で建物と家財が補償される」と思っているも、保険証券を確認したら、建物の補償だけで家財の補償(家財保険)が付いていなかった、ということもあります。風水害の増えている今だからこそ、加入中の保険の内容を確認しておきましょう。

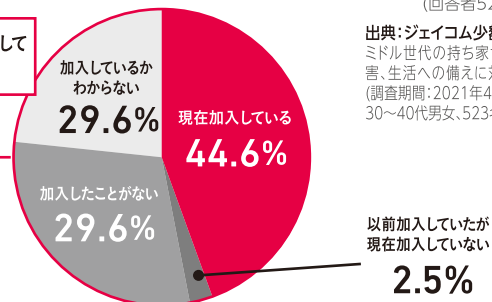
あなたのご家庭では「家財保険」に加入していますか?

(回答者523/単一回答)

出典:ジェイコム少額短期保険調べ  
ミドル世代の持ち家世帯に対する[災害、生活への備えに対する実態調査]  
(調査期間:2021年4月30日~5月6日  
30~40代男女、523名対象)

「こんなデータも...!」

未加入&加入を把握していない方が5割以上



以前加入していたが  
現在加入していない  
2.5%

ライタープロフィール

保険相談サロンFLP ファイナンシャルプランナー / 實政 貴史

15年以上の保険業界経験で得た知識を活かし、保険相談サロンFLPサイトの記事を執筆。保険相談サロンFLPのYouTubeチャンネルでは、さまざまな保険情報の解説、毎日新聞ライフコンシェルジュ生活の窓口などでセミナーも行う。保険相談サロンFLP公式サイトのプロダクトマネージャー(運営責任者)を務める。